



ボートレース事業は、こんなに役立っています！

市財政への繰入金は総額576億円

大村ボートレース場は、昭和27年4月6日、全国で初めてモーターボート競走を開催した「ボートレース発祥の地」です。

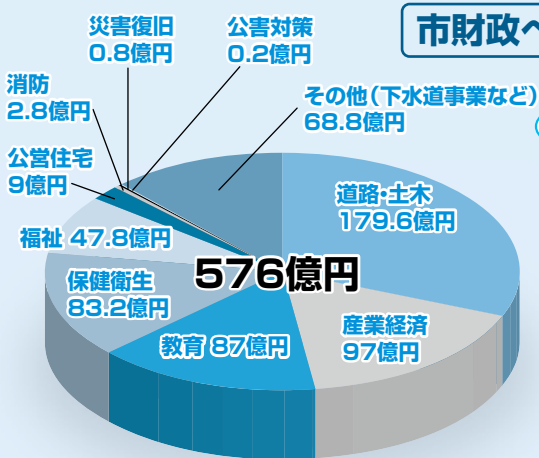
以来、今年で59年目を迎えました。これまでに、ボートレース事業の収益から、総額576億円を市へ繰り入れし、市民生活の基盤となる道路、公園、下水道などの整備や、教育文化の振興となる学校建設や体育文化センターの建設費、保育所など児童福祉施設の整備費をはじめとし、産業・経済の振興、医療の普及など、さまざまな事業費に活用してきました。

平成22年度は、繰入金を活用して「大村市こども夢基金」を設立しました。

これは、次世代を担う子どもたちの育成支援の事業などに活用します。

ボートレース事業は、今後とも効率的な経営と売上げの拡大に努め、市財政への安定的な繰り入れによって、市の発展に貢献してまいります。

市財政への繰入金の概要



ボートレース大村ってすごい!!



大村消防署



こどもセンター



森園公園



オフィスパーク大村



通学道路の整備(落下防止柵)

道路の舗装率も家庭の水洗化率も県内トップクラスなんだよ!



連載 Vol.1



大村市モーターボート競走事業 管理者 田中 克史

新時代のボートレースを求めて

わたくしは、

6月1日に大村市モーターボート競走事業管理者を拝命いたしました。「ボートレース発祥の地」で事業の経営にあたる光栄に浴し大変感激しております。ボートレース事業の発展をとおして市の発展と市民の皆さまのしあわせを願って誠心誠意努力してまいります。

大村市に住んで間もないわたくしは、今、大村のまちに吹く風をからだに感じていると感じております。進取の風、改革の風、悠久の歴史を感じる風です。

来年、大村ボートは、60年の節目を迎え、今、新しいボート場の建設に向けた準備を進めており、新たな時代に入ります。ボートレースの歴史を拓き、築いてこられた先人の方々の情熱と郷土愛のこころを受け継いでまいれる覚悟でございます。

人口減少社会の到来、厳しい雇用情勢など経営環境は厳しさがともないますが、経営の効率化や新しいファンの創造など、新しい時代のボート事業のあり方を追求してまいりたいと存じます。

これから、ボートレース事業について、皆さまと一緒に考えてまいりたいと思います。市民並びにファンの皆さまの引き続きのご理解とご支援を賜りますようごころからお願ひ申し上げます。

8月のレース開催日程

本場開催

2日～7日 BOAT RACE振興会会長賞 テレボートカップ
9日～14日 九スポ杯お盆特選レース
17日～22日 第6回蛭子能収杯真夏の女王決定戦
28日～9月1日 KTNテレビ長崎杯

場外

5日～10日 SG東日本復興支援競走(戸田)
23日～28日 SGモーターボート記念競走(福岡)

ナイター

1日、15日、16日を除く全日ブルードラゴン、前売場外発売所で発売